

【研究開発の名称】画像および問診データによる皮膚疾患識別技術(2015年度採択課題)

## ■ 開発の経緯・概要

- 日本は高齢化社会を迎えており、皮膚疾患の罹患ケースは増加している。皮膚科医が不足する中、非皮膚科医が皮膚疾患を診断するケースが多々ある。本研究では、自動で皮膚疾患を診断する技術を開発している。
- 日本発の技術で、遠隔診断を実現し、日本における医師不足を解消するだけでなく、無駄な受診や投薬も減らし薬剤費節減にも貢献できる。
- また、厳密な精度が求められる医療目的にも耐えうる高精度機械学習技術を確立し、日本発のベンチャーとしてグローバルITヘルスケアの先駆者となり、ICTによる遠隔診断の礎を築くことを目的とする。

## ■ 現状の成果

- 遠隔皮膚科診断支援サービス「ヒフミルクン」を中心に、様々なサービスを弊社APPに付加
- 現在は数万人のユーザーを獲得
- 弊社プロダクトをマーケティングに用いる企業数は現在で10社弱社あり(以上すべて2018年11月時点)

## ■ 会社概要

	設立時 2014年12月	採択時 2015年9月	現在 2018年11月
資本金	2百万円	4.5百万円	199百万円
従業員数	0人	3人	14人

## ■ I-Challenge!活用による成果

### 【PoCの成果】

- 遠隔皮膚科診断支援サービス「ヒフミルクン」を通じて、機械学習しやすい形でのデータ収集できるシステムを構築、計7万枚程度の画像を収集。
- 収集画像を使用し、皮膚疾患の症状ごとに設けた10種の分類(皮疹クラス)の中から精度90%程度で識別するAIを構築

### 【I-Challenge! ここがすごい!】

- 技術に関して、一流の方から助言がもらえる
- 事業化に向けた支援が手厚い
- 事業化支援機関が伴走してくれるため、ベンチャー外部の知見を常に入れられる

### 【事業化支援機関からの支援内容】

[事業支援機関:(同)SARR]

- ベンチャーの資金調達に関する的確なアドバイス
- 豊富なネットワークに基づく製薬企業の紹介

